

鈴鹿市高齢者福祉計画

【第9次計画（2021～2023年度）】

概要版

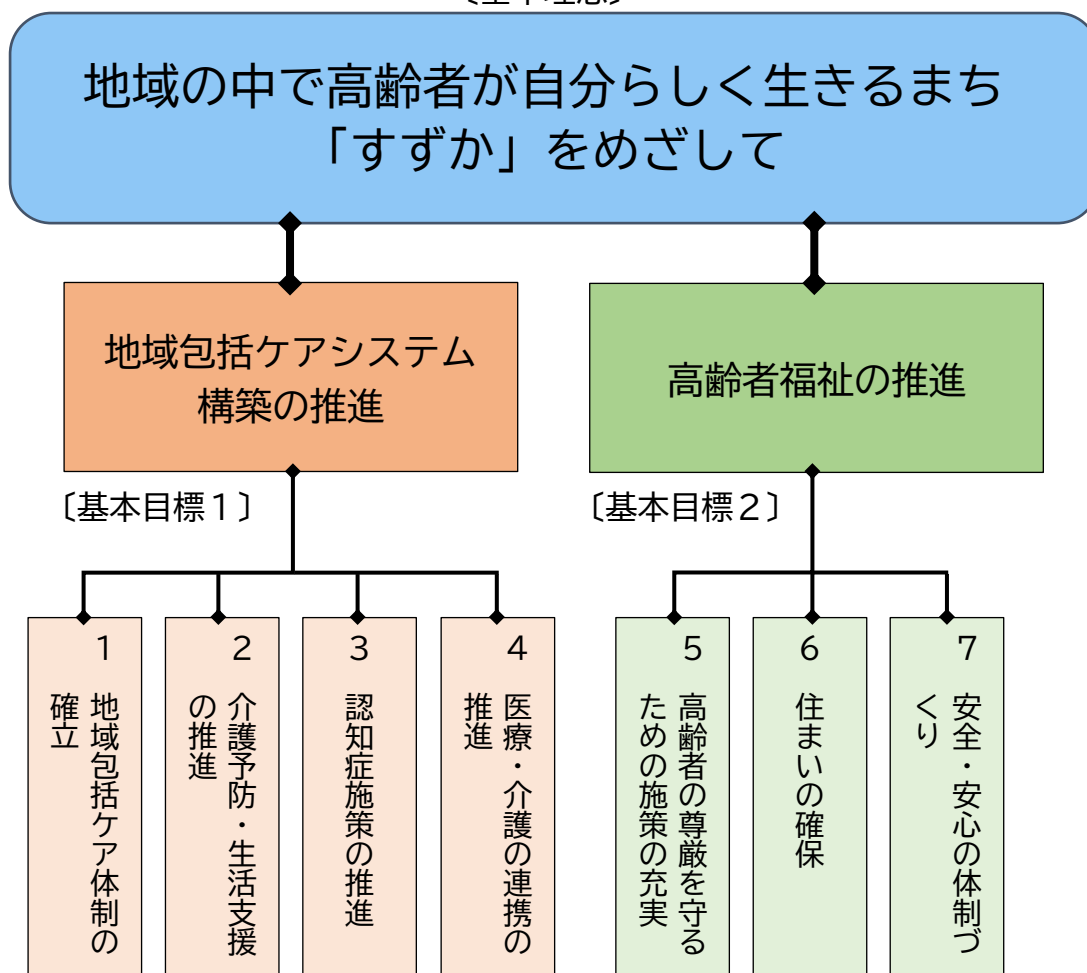
少子高齢化・人口減少社会の到来により、高齢者を取り巻く状況は、介護保険制度の持続可能性や人材不足によるサービスの低下など、様々な課題が懸念されています。

鈴鹿市では、高齢者を含むあらゆる住民の皆様にご参画いただくことで、高齢者が尊厳を持ち、地域の中でいきいきと暮らし続けられるよう一人ひとりに寄り添った、住まい、医療、介護、予防、生活支援などが、切れ目なく一体的に提供されることをめざして、鈴鹿市高齢者福祉計画【第9次計画（2021～2023年度）】策定しました。

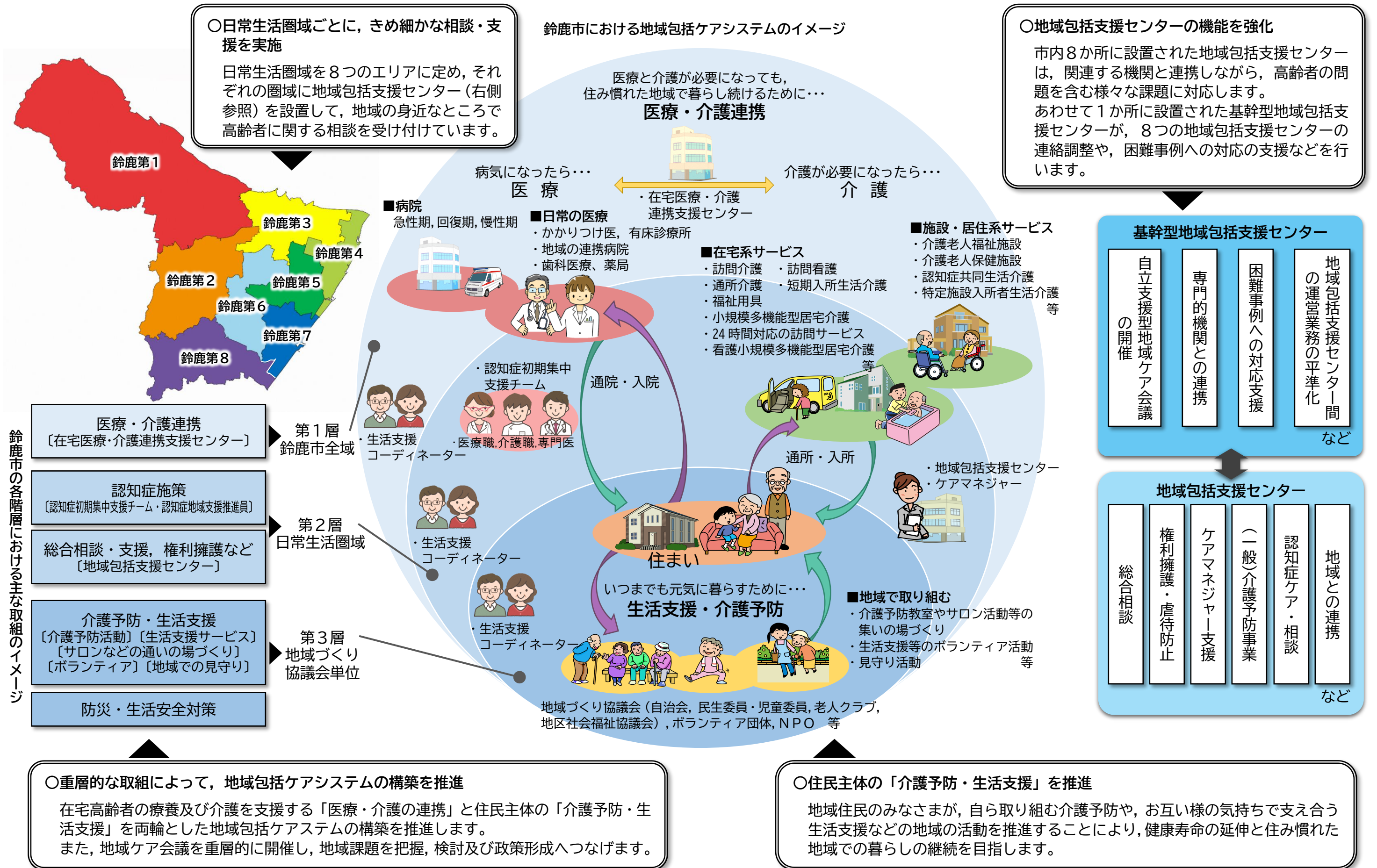
◎計画の基本理念・基本目標と施策体系

この計画は、長期的な視点に立ち、市の最上位計画である「鈴鹿市総合計画2023」の後期基本計画に沿って、福祉分野の上位計画に位置づけられている「第2期鈴鹿市地域福祉計画」との整合を図り、鈴鹿亀山広域連合が策定する第8期介護保険事業計画と一体性を持ちながら、次のとおり基本理念及び基本目標を定め、以下の体系で施策を展開していきます。

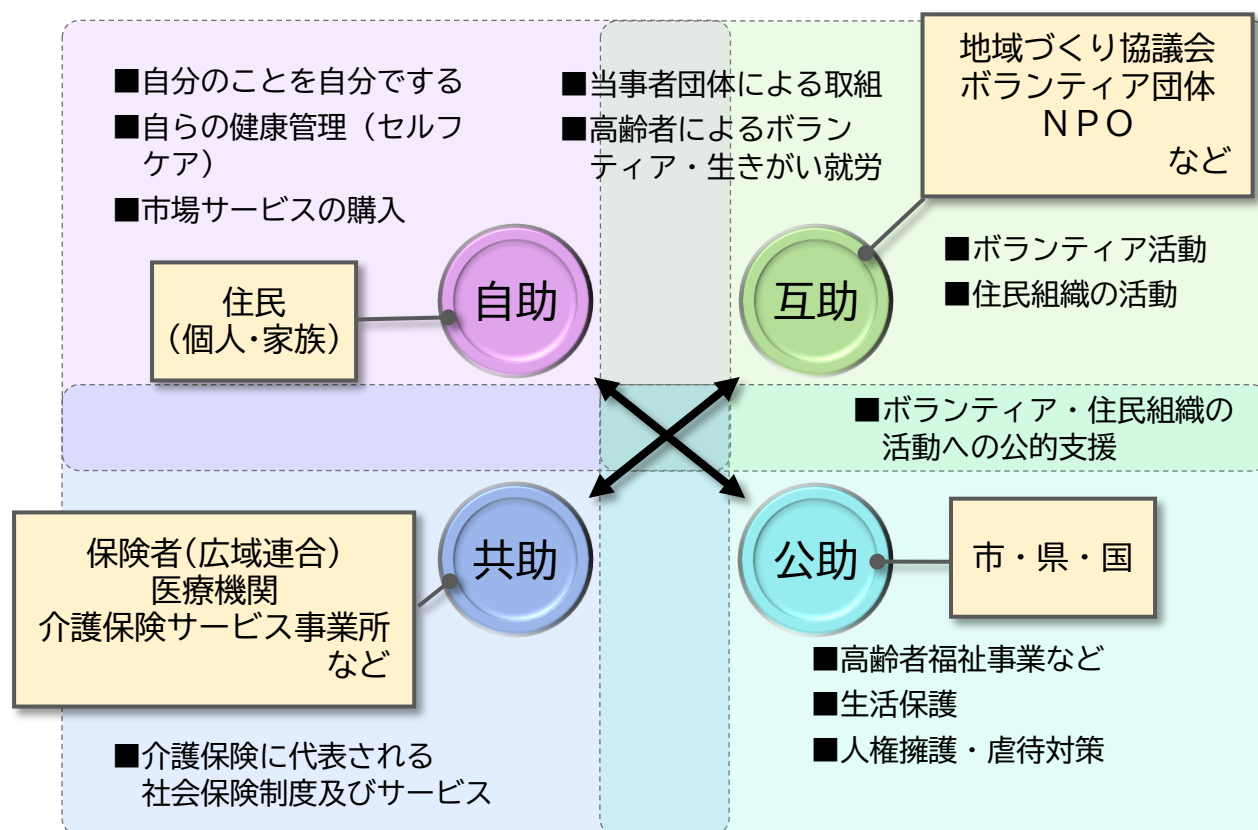
〔基本理念〕



◎第9次計画のトピックス



自助、互助、共助、公助からみた協働による取組のイメージ



○協働と役割分担によって、地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会を実現

地域包括ケアシステムは、「自助・互助・共助・公助」の4つの支援と役割分担・協働を重視した取組を推進しています。

自助は、市場サービスの購入も含めて自分のことは自分でする、自ら健康管理をすることです。互助は、お互い様の気持ちで支え合う自発的な地域活動です。共助は、介護保険などを指し、自助、互助、共助では解決できない貧困や虐待に関しては公助による取組で進めます。

特に互助では、あらゆる住民、団体等が参画する「地域共生社会」の実現も視野に入れ、協働と役割分担により地域づくりを進めることができるよう支援を行っていきます。

市民お一人お一人が「自助」を心がけるとともに、「共助」へのご理解と、「互助」へのご参画が不可欠です。
地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現に向けて、市民のみなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

鈴鹿市高齢者福祉計画【第9次計画（2021～2023年度）】—概要版—

発行／鈴鹿市

編集／鈴鹿市健康福祉部長寿社会課 地域包括ケアシステム推進室

発行年月／令和3年10月

〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号

Tel：059-382-9886 Fax：059-382-7607